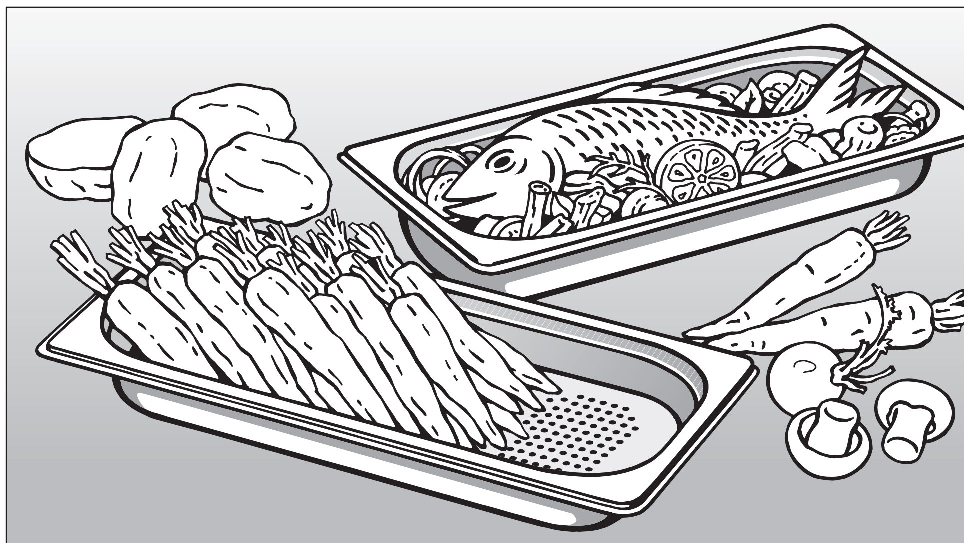
Miele

取扱説明書



スチームクッカー
DG 3460

ja - JP

お客様の安全を確保し、機器の損傷を避けるため、本製品を初めてご使用になる前には、**必ず**この取扱説明書をお読みください。

M.-Nr. 07 530 940

目次

目次

安全上のご注意

表示	表示の意味
⚠ 警　告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が中程度の傷害を負う可能性、もしくは物的損害の発生が想定される内容を示します。

■ 重傷とは、失明、けが、やけど（高温、低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院、長期の通院を要するものを言います。

■ 中程度の傷害とは、治療に入院、長期の通院を要しないけが、やけど、感電などを指し、物的損害とは、財産の破損および機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。

図記号の例	
⃠	**禁　止**（してはいけないこと） 具体的な禁止内容は、図記号の中や文章で指示します。
❗	**強　制**（必ずすること） 具体的な強制内容は、図記号の中や文章で指示します。
△	**注　意**（警告を含む） 具体的な注意内容は、図記号の中や文章で指示します。

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項をマークで表示しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

禁止行為	潜在的な危険・警告・注意
分解禁止	感電注意
水場、湿気の多い場所での使用禁止	機器に損害を与える可能性のある場合
接触禁止	発火注意
強制／指示	高温注意
電源接続に関する注意	破裂注意
必ずアース線を接続	

安全上のご注意

スチームクッカーは、現行の安全基準に適合しています。しかし、不適切な使用は、人体への危害および、物的損害の恐れがあります。本製品を初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お客様の安全を守り本製品の損傷も防ぐことができます。本取扱説明書は大切に保管し、製品を譲渡する場合は、必ず本書を添付してください。

 **警　告**



本製品を設置する前に、損傷がないかチェックしてください。損傷がある場合は、設置およびご使用を中止してください。誤った設置や接続による損傷については製造者責任を負いません。



必ずアースを取り付けてください。故障や漏電の時に感電する恐れがあります。（電気工事士の有資格者が第3種接地工事をするよう法令で定められています。）



電気工事はすべて電気工事設備基準に準じて行ってください。



本製品は現行の安全基準に準じて製造されています。修理技術者以外の方による修理、改造、分解は行わないでください。これによるいかなる損害も製造業者は責任を負いません。修理が必要な場合は販売店またはミーレ指定サービス店にご連絡ください。





浴室や風雨にさらされる場所など湿気の多い場所には設置しないでください。（感電・火災・故障・変形の恐れがあります。）




お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、また濡れた手で抜き差ししないでください。（感電やけがをすることがあります。）



お手入れの際などに、本体各部に水をかけないでください。

 **警　告**

本製品は、該当するすべての法的な安全要件に適合しています。ただし、正しくお使いにならなければ、人的傷害または物的損害の危険を招く場合があります。

事故および本製品の損傷や故障を防止するため、本製品を設置するときや初めてご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みください。本書には、本製品を正しく安全にお使いいただくための注意事項と、本製品の設置、操作、お手入れに関する重要な情報が記載されています。

これらの説明書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書を添付してください。



このスチームクッカーは、プラグを使って接続できます。
スチームクッカーをブレーカーに接続する場合、国および地方自治体の安全基準に従って、適切な有資格者が設置作業を行う必要があります。不適切な設置または接続による損傷や故障は、保証対象外となります。




決してキャビネットを開けないでください。電気接続や電気部品にみだりに触ることは非常に危険であり、動作傷害の原因となる場合があります。

正しい使用方法



ビルトイン型スチームクッカーは、正しく設置されるまで使用しないでください。すべての電気部品が露出しないようにする必要があります。

安全上のご注意

 警　告



本製品は業務用ではありません。ご家庭での使用、またはそれに類似する以下の職場や居住環境での使用を想定しています。

－　店舗

－　オフィス、ショールーム

また、以下のような宿泊施設での使用を想定しています。

－　ホステル、民宿



本製品は家庭用として使用し、必ず取扱説明書に従ってご使用ください。その他の使用は想定されておらず、危険性があります。不適切な用途または操作による損傷や故障は、保障対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。



貯水タンクを水に浸したり、食器洗い機で洗浄しないでください。貯水タンクの下部はヒーターになっているので、貯水タンクを濡れたままでスチームクッカーに取り付けると、感電する恐れがあります。



本製品を衛生的に保つため、またスチームクッカー内に水が溜まるのを防ぐため、ご使用の後はそのたびに貯水タンクを空にしてください。



水滴受けは、各プログラムの終了後に乾いた布で拭き取ってください。



ご使用後は、庫内が完全に乾くまで、ドアを開放しておいてください。

 警　告






本製品はおもちゃではありません。けがの危険を防止するため、お子様がスチームクッカーやタッチパネルを触ったりすることのないようご注意ください。お年寄りや介護を要する方が使用する場合は、他の方が十分に注意してください。大きいお子様が1人でスチームクッカーをご使用になる場合は、スチームクッカーの操作方法を明確に説明し、誤ったご使用による危険を理解していることを確認してください。

設置およびメンテナンスの注意




本製品の電源プラグをコンセントに差し込む前に、ご使用の電圧および周波数が型式表示シールに記された仕様に適合しているか確認してください。一致していない場合は、スチームクッカーが損傷する恐れがあります。不明な点がある場合は、有資格者にご相談ください。





本製品の電気系統についての安全が保障されるためには、各地域の規格に準拠した有効な接地（アース）機構と本製品との間に、導通が確保されていなければなりません。これは製品を安全にお使いいただくための基本条件であり、資格のある電気工事事業者によって、この条件が満たされているかどうかを定期的にチェックすることも重要です。
不適切な接地工事による問題（感電事故など）は、保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。

 警　告



すべての設置作業および修理は、国および地方自治体の安全基準に従って、有資格者が行わなければなりません。無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は保証対象外となり、このために生じる被害や損害の製造者責任は負いません。



本製品の接地や修理、点検に際しては、必ず電源が完全に遮断されていることを確認してください。本製品が電源から完全に遮断されるのは、ブレーカーが切られた場合のみです。



お手入れや修理作業が完了したことを確認するまで、給電しないようにしてください。





本製品をコンセントに接続する場合は、延長コードを使用せず、電源プラグをコンセントに直接差し込んでください。延長コードを使用した場合は、本製品の安全性が確保されず、感電や過熱などによる事故などが発生する場合があります。



ハンドミキサーのような電気製品をスチームクッカーのそばで使用する場合、コードがスチームクッカーのドアにはさまる恐れがあります。コードの絶縁が損傷し、感電の恐れがあります。

 警　告

使用方法

お子様に関する安全注意事項



注意：火傷の危険があります。
スチームクッカーおよびその周辺は高温になります。



このスチームクッカーは使用中に高温になるため、小さなお子様の手の届かない場所に設置してください。


このスチームクッカーは、成人がこの取扱説明書を読んだ上で操作することを前提としています。




スチームクッカーはおもちゃではありません。
ケガや事故を起こさないように、お子様がスチームクッカーに近づかないようにし、スチームクッカーやそのスイッチ類をさわらないようにしてください。小さなお子様は、機械の危険性を理解していません。キッチンで作業をする場合は、お子様から目を離さないでください。





スチームクッカーは、使用中高温になり、スイッチを切った後もしばらく高温状態が続きます。やけどなどを防止するため、スチームクッカーの温度が十分下がるまで、お子様を近づけないようにしてください。

安全上のご注意

 警　告



ヒンジ部品はていねいに扱ってください。ケガをする恐れがあります。お子様が近づかないようにご注意ください。



お子様がスチームクッカーに近づかないよう常に注意し、お子様がドアを開けたりしないようにしてください。



密閉フィルムやビニールシートなどの梱包材は、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。梱包材は、できるだけ早急に廃棄するか、リサイクルしてください。


ご使用にならなくなったスチームクッカーは、廃棄する前に、スイッチを切り、電源から切断してください。プラグ類は切断し、使用できないようにしてください。誤って使用することがないように、ケーブルは直接切断してください。この作業は必ず技術者が行ってください。詳細については、「使用済み器具の廃棄処分」を参照してください。

 警　告

スチームクッカーの破損の防止





本製品は、密閉された缶に入った食材の加熱には使用しないでください。容器内部の圧力上昇によって爆発し、スチームクッカーを破損するだけでなく、ケガややけどの恐れがあります。



スチームクッカー内に調理済みの食材を保存しないでください。食材の水分によって、スチームクッカーにさびが生じる場合があります。


金属容器や調理用具は錆びやすいため、使用しないでください。さびの原因になります。



スチームクッカーの水垢を取り除く場合は、専用のカルキ除去剤（錠剤）を使用してください(弊社販売店からお求めになれます)。
使用法は、クリーナーのパッケージの説明書をご覧ください。酢や酢を含むカルキ除去剤は、スチームクッカー内に錆びが生じることがあるため、使用しないでください。




本製品のお手入れにはスチームクリーナーは使用しないでください。蒸気が電気部品に入り、ショートの原因になる恐れがあります。このような損傷は、保証の対象外となります。

 警　告



本製品は、使用後の貯水タンクに若干の水が残るように設計されています。タンクが空になってしまう場合は、何らかの問題があります。ミーレのコールセンターまでお問い合わせください。

 警　告

やけどの防止




スチームクッカーのご使用中は、特にドア内や通気口の周辺が高温になり、スイッチを切った後もしばらく高温状態が続きます。




スチームクッカーの温度がまだ高い場合、ドアを開けると蒸気が放出されます。
スチームクッカーから離れて、蒸気が拡散するまで待ってください。



ドアを開けるときは、排水路に溜まった熱湯が飛び散らないように注意してください。




スチームクッカーの使用時、手を保護するために鍋つかみを使用してください。ただし、水で濡れていると熱が伝わりやすくなり、やけどの恐れがあるため、鍋つかみを濡らしたり、湿らせたりしないでください。




調理容器または水受けトレイをスチームクッカー内に出し入れする際、中身をこぼさないように注意してください。高温の水蒸気や、高温のスチームクッカー内壁に触れないでください。やけどの恐れがあります。




貯水タンクをスチームクッカーから取り出すときに、傾けないように注意してください。
熱湯がこぼれてやけどする恐れがあります。

安全上のご注意

 警　告

スチームクッカーの故障



スチームクッカーが損傷した場合は、直ちにスイッチを切り、電源から切断する必要があります。修理が完了するまで、再び使用しないでください。スチームクッカーがまだ完全に設置されていない場合は、電源ケーブルを電源から取り外しておく必要があります。プラグを抜いて、ミーレのコールセンターまでご連絡ください。
修理が完了するまで、スチームクッカーを電源に接続しないでください。



保証期間中の修理は、ミーレ認定の技術者のみが行うことができます。
それ以外の場合、保証は無効となります。

 警　告

その他の安全注意事項



調理したり温め直したりする場合は、食材を十分に加熱してください。
食材の中には（たとえば、鶏肉）、高温で十分に加熱しなければ死滅しない細菌が含まれているものもあります。
不確かな場合は、調理や温め直す時間を長めに設定してください。



ドアを開く際、ドアの開閉部などの角や縁でけがをしないように注意してください。



プラスチックの調理容器を使用する場合、100 ℃までの温度および水蒸気に対応していることを確認してください。対応していない場合、容器が溶けたり、変形したり、破損することがあります。



害虫が発生しやすい環境でご使用になる場合は、本製品とその周辺を常に清潔な状態に保つように特に注意が必要です。ゴキブリなどの害虫による損傷は、保証対象外となります。

梱包材の始末

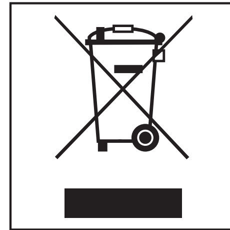
輸送時の保護用の詰物には、廃棄する際に環境への影響が少ない材質が使用されており、リサイクルすることができます。

密閉フィルムやビニールシートなどの梱包材は、赤ちゃんや小さなお子様の手の届かないようにしてください。窒息する恐れがあります。

梱包材は、できるだけ早急に廃棄するか、リサイクルしてください。

使用済み器具の廃棄処分

多くの電気機器や電子機器には、処理や処分を誤ると、健康や環境に悪影響を及ぼす物質が含まれている場合があります。
ただし、このような物質は、スチームクッカーが正しく機能するために不可欠のものです。
このため、不要になったスチームクッカーは家庭ゴミとしては出さないでください。

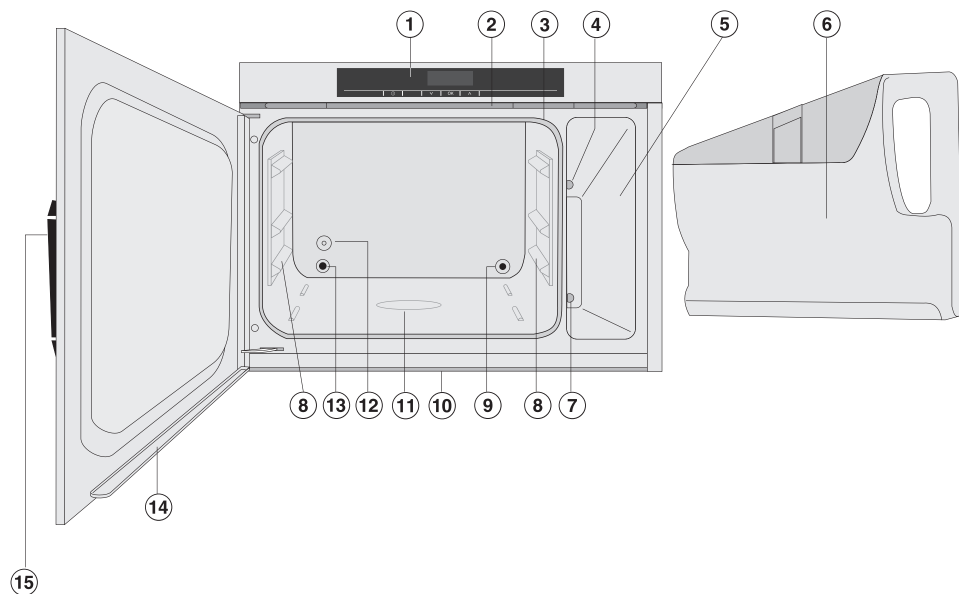


地域のゴミ収集／リサイクルセンターで処分し、処分前の保管中にはお子様に危険が及ばないようにしてください。

不要になった製品を主電源から切り離す場合は、専門の技術者に依頼してください。プラグを使って接続している場合、プラグを使用できないように破断し、誤って使用しないようにケーブルを直接切断してください。

各部の名称

正面図



① 操作パネル

② 通気口

③ ドアシール

④ スチーム供給路

⑤ 貯水タンク収容部

⑥ 貯水タンク（上部カバー付き）

⑦ 貯水タンク接点

⑧ 棚受け

⑨ スチーム給気口

⑩ スチームクッカー側の水滴受け

⑪ 底部ヒーター

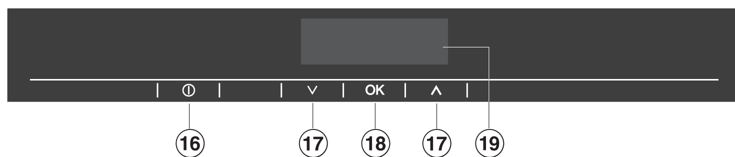
⑫ 温度センサー

⑬ 庫内からの排気口

⑭ ドア側の水滴受け

⑮ ドアの取っ手

操作パネル



⑯ 電源オン / オフセンサー

⑰ 温度や調理時間を選択するスクロールセンサー

⑱ 入力内容を確定する OK センサー

⑲ ディスプレイ

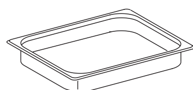
各部の名称

付属品

本製品に同梱されている付属品の他、各種オプションの付属品もお求めいただけます（「オプションの付属品」を参照）。

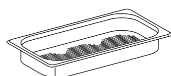
※ガストロノーム規格：調理容器の寸法を批准する国際基準

水受けトレイ



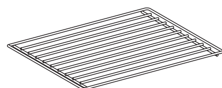
余分な水を受けるために使用します。
ガストロノーム規格 GN 1/2
325 × 265 × 40 mm（幅×奥行×高さ）

DGGL 1



調理容器、穴あき（2 個）
総容量 1.5 リットル / 利用可能容量 0.9 リットル
ガストロノーム規格 GN 1/3
325 × 175 × 40 mm（幅×奥行×高さ）

ラック



調理容器を置くために使用します。

シリコングリース



貯水タンクのカップリングシールの潤滑に使用します。

カルキ除去剤

貯水タンクのカルキ除去に使用します。

ミーレスチームクッカーのレシピブック

センサー

本製品は、センサーを軽く押して操作します。センサーを押すたびに音が鳴ります。必要に応じて音量を変更したり、音が鳴らないように設定することができます（「プログラミング」を参照）。

⏀

— 本製品の電源をオンまたはオフにします。
— カルキ除去処理を呼び出します。

⏀ + ∨

プログラミングを呼び出します。

∨

— 温度と調理時間を設定します。
— プログラミング設定をスクロールします。

∧

— 温度と調理時間を設定します。
— プログラミング設定をスクロールします。

OK

- 選択した温度と調理時間を確定します。
- 選択したプログラミング設定を確定します。

ディスプレイ

本製品の稼働中、数値とマークがディスプレイに表示されます。

数値 + ℃ ＝温度
数値 + h ＝時間
（点滅） ＝水が無い、または貯水タンクがセットされていない
数値 + ＝貯水タンクのカルキ除去が必要

機能の説明

水受けトレイ

穴あき容器を使用している場合、本製品の底部に水受けトレイを置き、滴下した液体を集めて簡単に捨てることができます。

貯水タンク

水位は、最大 1.2 リットル、最低 0.75 リットルです。貯水タンクの内側と外側に水位マークが記されています。上限の最高水位マークを絶対に超えないようにしてください。
水を最大の 1.2 リットル入れた場合、100 ℃で約 2 時間の調理プログラムを実行できます。最低の 0.75 リットル入れた場合、100 ℃で約 30 分間の調理プログラムを実行できます。ただし、両方ともドアがその間に開けられないことが前提です。
マークが点滅している場合、貯水タンクが正しくセットされていないか、貯水タンク内の水が不足しています。

調理時間

1 分（0:01）～ 9 時間 59 分（9:59）の間で設定できます。

運転音

本製品の動作中はファンの回転音が聞こえます。
また、水蒸気が発生しているときは、ヤカンが沸騰するような音が聞こえます。

温度

スチームクッカーには 40 ～ 100 ℃の温度範囲を設定することができます。スチームクッカーの電源をオンにすると、温度が 100 ℃に設定されます。温度は 5 ℃間隔で変更できます。

推奨温度

100 ℃ :
あらゆる種類の食材の調理
温め直し
メニューの調理（献立の同時調理）
瓶詰め（ボトリング）
スチームによる果汁の抽出
....

85 ℃ :
魚調理（じっくり調理する場合）

60 ℃ :
解凍

40 ℃
パン生地の発酵（膨らませる）
ヨーグルト作り
......

推奨温度の詳細については、本製品に付属の『ユーザーガイド』を参照してください。

機能の説明

加熱段階

加熱段階では、庫内が設定温度になるまで加熱されます。ディスプレイには、庫内の温度上昇が表示されます。

加熱時間は、食材の量と温度によって異なります。冷蔵または冷凍していた食材を調理する場合、加熱時間は長くなります。

貯水タンクにお湯を入れると、予熱時間は短くなります。

調理段階

設定温度に達すると、調理が開始されます。調理段階では、残りの時間（終了までの時間）がディスプレイに表示されます。

スチームクッカーの使用方法に関する詳細およびヒントについては、本製品に付属の『ユーザーガイド』を参照してください。

初めてお使いのときのクリーニング

保護材とラベルなどをすべて取り外してください。

ドアの取っ手の左側を押して、ドアを開きます。ドアがわずかに開きます。

貯水タンク

スチームクッカーから貯水タンクを取り出して、上部カバーを取り外します（「掃除とお手入れ」の「貯水タンク」を参照）。温水を使用して、貯水タンクと上部カバーをていねいに水で洗い流します。食器用台所洗剤や漂白剤は使用しないでください。

貯水タンクや上部カバーは、食器洗い機で洗浄しないでください。貯水タンクを水に浸さないでください。

付属品 / 庫内

スチームクッカーから付属品をすべて取り外します。薄めた食器用台所洗剤または食器洗い機でこれらの付属品を洗浄します。

スチームクッカーの庫内には、工場出荷時に輸送用表面処理剤による処理が施されています。輸送用表面処理剤を取り除くには、薄めた食器用台所洗剤で庫内を洗浄し、柔らかい布でていねいに拭き取ります。

■ 輸送用表面処理剤とは、無害のステンレスコーティング剤です。

初めてお使いになる前に

水の正しい沸点の設定

標高の高い地域では、標高ゼロの地域に比べ、水の沸点が低くなります。お住まいの地域の標高に合わせて沸点を調整するには、貯水タンクに水道水を入れ（「操作」の「本製品の使用準備」を参照）、本製品を 100 ℃で 15 分間稼働させせます。「操作」に記載されている手順を実行します。

この手順を実行することにより、お住まいの地域の標高に合わせて正しい沸点が設定される他、水路が洗浄されます。



警告！
スチームクッカーから大量の水蒸気が放出されますので、充分ご注意ください。

引越しなどで前の家との標高差が 300 m を超える場合は、新しい標高に合わせて再設定する必要があります。この場合、スチームクッカーのカルキ除去を行ってください（「掃除とお手入れ」の「カルキ除去」を参照）。

本製品の使用準備

■ 少なくとも最低水位マークの位置まで貯水タンクに水道水を入れます。上部カバーを取り外す必要はありません。

必ず水道水を使用してください。蒸留水やミネラルウォーターなど、その他の液体は使用できません。

■ 本体にしっかり収まるよう、貯水タンクを押し込みます。

貯水タンクの位置が正しくないとスチームクッカーは加熱しません。しばらくするとディスプレイに「F20」と表示されます（「こんなとき、どうしたらいい ?」を参照）。

■ 食材をスチームクッカーに入れます。

■ スチームクッカーの電源をオンにします（①）。

温度と時間の設定



ディスプレイに「100 ℃」と表示され、「℃」が点滅します。

■ 100 ℃で調理する場合、「OK」を押して設定を確定します。

必要に応じて、∨ センサーを押して温度を下げることができます。「OK」を押して確定します。



温度を確定すると、ディスプレイに 3 つのゼロ（0）が表示され、「h」が点滅します。

■ ∧（0:00 からプラスに設定）または ∨（9:59 からマイナスに設定）を押して目的の調理時間を設定します。

■「OK」を押して設定を確定します。

時間を確定すると、スチームクッカーが自動的に開始します。

15 分以内にこれらの手順を完了しないと、スチームクッカーの電源が自動的にオフになります。

調理時間の終了時

設定した調理時間が終了すると、アラームが鳴り、ディスプレイに 3 つのゼロ（0）が表示され、「h」が点滅します。

■ スチームクッカーの電源をオフにします。

スチームクッカーの電源をオフにした後も、ファンはしばらく回転し続けます。スチームクッカーの電源をオフにしてからすぐに貯水タンクを取り出すと、使用後のファンの動作時間を短縮できます。



ドアを開くと、水蒸気が放出されます。スチームクッカーから離れて、水蒸気が放散するまでお待ちください。

スチームクッカーを開く際、ドア側の水滴受けに溜まったお湯が溢れないように十分注意してください。



また、水受けトレイや調理容器をスチームクッカーから取り出す際、中身をこぼさないように注意してください。高温の水蒸気や高温の庫内側面には触れないでください。やけどの恐れがあります。

使用後

■ 水受けトレイを取り出し、中身を空にします。

■ 貯水タンクを少し押し上げ、スチームクッカーから取り出します。貯水タンクの中身を空にします。

■ スチームクッカーを使用するたびに、「掃除とお手入れ」の手順に従って、スチームクッカー全体を掃除して乾かします。

■ 庫内が完全に乾くまで、ドアは開いたままにします。

本製品は、使用後の貯水タンクに若干の水が残るように設計されています。貯水タンクが空になってしまう場合は、何らかの問題があります。ミーレのコールセンターまでお問い合わせください。

動作中

動作の中断

本製品の動作はドアを開くと中断されます。加熱がオフになり、残りの調理時間はそのままメモリに保存されます。



ドアを開くと、水蒸気が放出されます。スチームクッカーから離れて、水蒸気が放散するまでお待ちください。

スチームクッカーを開く際、ドア側の水滴受けに溜まったお湯が溢れないように十分注意してください。



また、水受けトレイや調理容器を庫内に出し入れする際、中身をこぼさないように注意してください。高温の水蒸気や高温の庫内側面には触れないでください。やけどの恐れがあります。

ドアを閉じると、動作が再開されます。
スチームクッカーが再び加熱され、ディスプレイには庫内の温度上昇が表示されます。設定温度に達すると、ディスプレイが調理時間表示に変わります。

温度の変更

本製品の動作中、いつでも温度を変更できます。「OK」センサーを 1 回押します。ディスプレイが温度設定に切り替わり、「℃」が点滅します。前述の手順に従って、温度を設定します。

調理時間の変更

本製品の動作中は、いつでも調理時間を変更できます。「OK」センサーを 2 回押します。ディスプレイが調理時間設定に切り替わり、「h」が点滅します。前述の手順に従って、調理時間を設定します。

操作

水量不足

水量が不足している場合、マークが点滅し、アラームが鳴ります。

■ 貯水タンクを取り出し、新鮮な水道水を入れます。

■ 本体にしっかり収まるよう、貯水タンクを押し込みます。

■ ドアを閉じます。

動作が続行されます。

予熱

本製品には予熱機能が備わっています。この機能により、庫内が約 40 ℃に予熱されます。庫内が予熱されることで、加熱時間が短くなり、その結果、調理時間も短くなります。

本製品の出荷時には、予熱機能は無効になっています。有効にするには、設定の変更が必要になります（「プログラミング」の「予熱」を参照）。

予熱機能を有効にした後でも、使用するかどうかはプログラムごとに選択できます。

予熱機能を使用する前に、貯水タンクに水を入れ、庫内にセットする必要があります。

ドアを開くと、予熱処理は取り消されます。処理を再開するには、スチームクッカーの電源をオフにしてから再びオンにします。

予熱機能を使用する場合

■ スチームクッカーの電源をオンにします。

ディスプレイに「100」と表示され、「℃」が点滅します。ここで確定は**しないでください**。

数秒後、予熱処理が開始され、ディスプレイには温度上昇が表示されます。

予熱処理が終了すると、ディスプレイに「100」と表示され、「℃」が点滅します。

■ 食材をスチームクッカーに入れます。

■ 温度と時間を通常どおり設定します。

予熱機能を使用しない場合

■ 食材をスチームクッカーに入れます。

■ スチームクッカーの電源をオンにします。

ディスプレイに「100」と表示され、「℃」が点滅します。

■ この温度を確定するか、目的の温度を設定します。

■ 目的の時間を設定します。

プログラミング

変更可能な標準設定を以下の表に示します。複数の設定を連続して変更できます。

プログラム		ステータス *		
P 1		**S 0**		
		S 1	工場出荷時の初期設定に戻す	
P 2	デモモード	**S 0**	**オフ（スチームクッカーを加熱する）**	
		S 1	オン（スチームクッカーを加熱しない）	
P 3	アラーム音の音量	S 1	最低	
		S 2	低	
		S 3	中	
		S 4	**高**	
P 4	水の硬度 **		硬度設定	硬度範囲
		S 1	I	1 ～ 7 °dH（0.2 ～ 1.3 mmol/l）
		S 2	II	8 ～ 14 °dH（1.4 ～ 2.5 mmol/l）
		S 3	III	15 ～ 21 °dH（2.7 ～ 3.8 mmol/l）
		S 4	**IV**	**>21 °dH（3.8 mmol/l 以上）**
P 5	温度の単位	**S 1**	**℃（摂氏）**	
		S 2	°F（華氏）	
P 6	予熱	**S 0**	**予熱無効**	
		S 1	予熱有効	
P 7	キーパッド音	S 0	オフ	
		S 1	**オン**	

* 工場出荷時の設定は太字で示しています。

** 水の硬度

水の硬度は付属の水硬度チェッカーで測定できます。または、お住まいの地域の水道局にお問い合わせください。水の硬度の設定 I ～ IV は、1 ～ 21 °dH またはそれ以上（0.2 ～ 3.8 mmol/l またはそれ以上）に相当します。

■ デモモード. . . . . . 機器のデモンストレーション用プログラム。ヒーターを稼働させないモードのため、実際の調理時には使用できません。

設定の変更を開始する前に、スチームクッカーの**電源がオフ**になっていることを確認してください。

■ ⏀ センサーを押して、そのまま押し続けます。

■ ⏀ センサーを押したままの状態で、∨ センサーを 1 回軽く押します。

ディスプレイに「P1」と表示されます。

■ 目的のプログラムがディスプレイで強調表示されるまで、∧ または ∨ センサーを押します。

■「OK」を押して確定します。

■ 目的のステータスがディスプレイで強調表示されるまで、∧ または ∨ センサーを押します。

■「OK」を押して確定します。

必要な設定の変更が終了したら、スチームクッカーの電源をオフにします。

掃除とお手入れ

一般的な注意事項



本製品を掃除するときは、スチームクリーナーは絶対に使用しないでください。蒸気が電気部品に達してショートの原因になることがあります。

本製品を電源から切断し、庫内が安全な温度に下がってから掃除を開始してください。

本製品は、毎回使用後に掃除してください。

スチームクッカーのドアを閉める前に、庫内が完全に乾いていることを確認してください。

本製品を長期間使用しない場合（休暇中など）は、臭いなどが残らないように、完全に掃除しておいてください。その後は、ドアをしばらく開放してください。



業務用の洗剤は使用しないでください。必ず食器用台所洗剤を使用してください。

メタン系炭化水素、エチレン系炭化水素、アセチレン系炭化水素などの脂肪族化合物を含む洗剤や液体洗剤は、シール（パッキン）が膨らむ原因になるため、使用しないでください。

本製品の前面とキャビネット

汚れはすぐに拭き取ってください。
汚れを放置しておくと落とせなくなる可能性があり、表面が変形または変色する原因になります。

本製品の前面は、お湯に溶かした食器用台所洗剤を湿らせた布またはきれいなスポンジにつけて掃除します。掃除が終わったら、柔らかい布で拭き取ります。

本製品の外面は、傷つきやすい材質でできています。ガラス表面についた傷は破損原因にもなりますので注意してください。

不適当な洗剤に触れると、表面が変形または変色することもあります。

本製品の損傷を防ぐため、以下のものは使用しないでください。

– ナトリウム化合物、アルカリ、アンモニア、酸、塩素系漂白剤を含む洗剤
– カルキ除去剤を含む洗剤
– 研磨剤入りの洗剤（磨き粉、クリームクレンザーなど）
– 溶剤型の洗剤
– ステンレス用の洗剤
– 食器洗い機用の洗剤
– ガラス用洗剤
– 研磨剤入りの硬いスポンジやブラシ（鍋磨き用スポンジなど）
– 研磨剤入り消しゴム
– 尖った金属べら

掃除とお手入れ

庫内

使用後はその都度、庫内、天井、ドアシール（パッキン）、水滴、ドア内部、および貯水タンク収容部を乾かしてください。スポンジまたは吸水性の布を使用して、庫内に溜まった水を拭き取ります。

付着した油分は、薄めた食器用台所洗剤をきれいなスポンジにつけて取り除きます。きれいな水で洗浄し、柔らかい布で拭き取ります。

長時間使用した後は、液体の滴下により**底部ヒーター**が変色することがあります。そのような場合も、同様にやさしく拭いて取り除いてください。掃除が終了したら、湿らせた布で表面に残った洗剤を拭き取ります。

ドアシール（パッキン）がもろくなったり、ひび割れた場合は、新しいシールと交換する必要があります。ミーレのコールセンターまでご連絡ください。

新しいシールを取り付ける際は、接合部が上になるようにしてください。

水受けトレイ、ラック、および調理容器

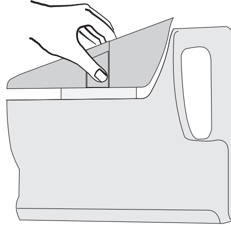
使用後はその都度、水受けトレイ、ラック、および調理容器を洗浄し、乾かしてください。これらはすべて、食器洗い機で洗浄できます。

もしくは、薄めた食器用台所洗剤を使用してください。容器をきれいな水でていねいにすすぎ、残った洗剤を取り除きます。

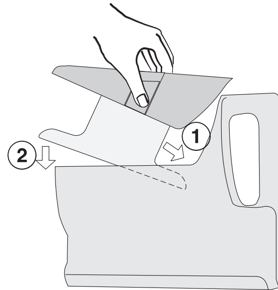
貯水タンク

使用後はその都度、貯水タンクを取り出し、中身を空にして乾かしてください。

■ 上部カバーのキャッチ部分を押さえ、貯水タンクから引っ張ると、上部カバーが外れます。



■ 洗浄後、貯水タンクに戻す前に、上部カバーの各部を完全に乾かします。上部カバーを取り付けるには、角度①を保って挿入し、下方向②に押し込みます（図を参照）。



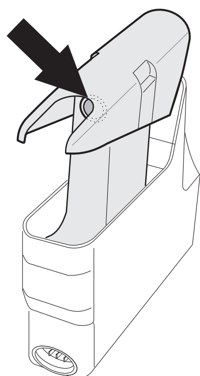


貯水タンクを水に浸したり、食器洗い機で洗浄しないでください。

衛生上の理由だけでなく、スチームクッカー内に水分が溜まるのを防ぐうえでも、使用後は必ず貯水タンクを空にしてください。

研磨剤入りパッドや硬いブラシは絶対に使用しないでください。

カップリングシール



貯水タンクが着脱しにくくなった場合、またはエラーメッセージ F20 が表示される場合、付属のシリコングリースを少量カップリングシールの内側に塗布してください（「各部の名称」の「付属品」を参照）。この場合、シールは取り外さず、そのままにしておいてください。

シリコングリースを使用する場合、以下の安全事項に従ってください。

－ 皮膚に付いたシリコングリースは、拭き取るか、洗い流してください。

－ グリースが目に入った場合は、きれいな水をたっぷり使用して洗い流してください。

－ 飲み込んでしまった場合は、病院で処置を受けてください。

カップリングシールがもろくなったり、ひび割れた場合、または貯水タンク収容部の床面に大量の水が溜まるような場合は、カップリングシールを交換する必要があります。

ミーレのコールセンターまでご連絡ください。



必ず付属のシリコングリースを使用してください。マーガリンや食用油、その他の家庭用グリースや油などは、シールが膨らむ原因になるため、絶対に使用しないでください。

カルキ除去

掃除の仕上げとして、ミーレのカルキ除去剤を使用してスチームクッカーのカルキ除去を行うことをお奨めします（「オプションの付属品」を参照）。専用のカルキ除去剤を使用してもかまいません。パッケージに記載されている製造元の指示に従ってください。



カルキ除去剤を金属製の操作パネルやドアの取っ手に付着させないようにしてください。さびの原因になります。これらの表面にカルキ除去剤が付着した場合は、すぐに拭き取ってください。

10

所定の稼働時間が経過したら、貯水タンクのカルキ除去を行ってください。カルキ除去が必要になると、ディスプレイにメッセージが表示されます。電源をオンにすると、ディスプレイにカルキ除去マーク と数字の「10」が表示されます。

この数字は、あと 10 回使用すると、スチームクッカーがロックされることを示します。すぐにスチームクッカーのカルキ除去を行わないと、次にスチームクッカーの電源をオンにしたときにディスプレイに「9」が表示されます。

そのまま使用し続けるとスチームクッカーがロックされ、カルキ除去を行わない限り、使用できなくなります。

スチームクッカーがロックされる前であれば、カルキ除去プログラムを**手動で**開始できます。



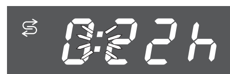
0:22h

■ アラームが鳴り、ディスプレイに「0:22 h」と表示されるまで、 を押します。 マークが点滅します。

■ 貯水タンクに水道水 1 リットルとカルキ除去剤 1 錠を入れます。カルキ除去剤のパッケージに記載されている指示に慎重に従ってください。

■ 本体にしっかり収まるよう、貯水タンクを押し込みます。

「OK」を押して確定します。

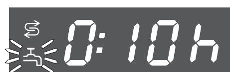


カルキ除去が開始されます。ディスプレイでは、コロン（:）が点滅し、マークが常に点灯します。

カルキ除去処理を取り消せるのは、最初の 1 分間だけです。その後は、処理を取り消すことはできません。



カルキ除去中は、スチームクッカーの電源をオフにしないでください。処理が終了する前に電源をオフにすると、処理全体を最初からやり直さなければなりません。



カルキ除去処理が終了する 10 分前になると、アラームが鳴り、マークが点滅します。貯水タンクに新鮮な水道水を入れる必要があります。

■ 貯水タンクを取り出し、中身を空にします。上部カバーを取り外します。

■ 貯水タンクと上部カバーを十分に洗浄します。

■ 上部カバーを取り付け、貯水タンクに新鮮な水道水を1リットル入れます。本体にしっかり収まるよう、貯水タンクを押し込みます。

点滅していた マークが消え、マークが点滅します。

■「OK」を押してプログラムを続行します。

コロン（:）が点滅し、マークが常に点灯します。

カルキ除去後：

カルキ除去処理が完了すると、アラームが鳴ります。

■ スチームクッカーの電源をオフにします。

■ ドアを開きます。

■ 貯水タンクを取り出し、中身を空にします。

■ 庫内を完全に乾かします。

■ 庫内が完全に乾くまで、ドアは開いたままにしておいてください。



電気機器の設置作業および修理は、必ず地域および国の電気設備基準に従う適任の有資格者が行わなければなりません。無資格者による修理などは危険です。正規の修理技術者以外による作業によって生じた損害は、保証対象外となります。

こんなとき、どうしたらいい？

スチームクッカーの電源が入らない。

ブレーカーが落ちていないかどうかを確認してください。

ブレーカーが落ちていない場合は、本製品の電源を約 1 分間遮断してください。以下の手順を実行します。

－ コンセントのプラグを抜きます。

－ ブレーカーを落とします。

電源のブレーカーをリセットし、本製品の電源を入れます。それでも電源が入らないようであれば、電気の有資格者またはミーレのコールセンターにご連絡ください。

スチームクッカーが加熱しない。

誤ってデモモードに設定されていないかどうかを確認してください(「プログラミング」を参照)。

スチームクッカーの電源を切った後も、ファンの音が聞こえる。

スチームクッカーには、庫内から蒸気を排出するためにファンが装備されています。
このファンは、電源を切った後もしばらく回転し続けます。

こんなとき、どうしたらいい？

スチームクッカーの貯水タンクが着脱しにくい。

「掃除とお手入れ」の「カップリングシール」の手順に従って、貯水タンクのカップリングシールに少量のシリコングリースを塗布してください。

加熱時間が異常に長い。

貯水タンクの底を確認してください。
多量のカルキが蓄積している場合、水の硬度が正しく設定されていない可能性があります。水質に合わせた硬度を設定し（「プログラミング」を参照）、「掃除とお手入れ」の「カルキ除去」の手順に従って、スチームクッカーのカルキ除去を行ってください。

水の硬度が正しく設定されているにもかかわらず、同じ問題が発生する場合は、ミーレのコールセンターまでご連絡ください。

引越しの後、スチームクッカーが加熱段階から調理段階に切り替わらない。

標高によって、水の沸点が変わります。引越しなどで標高が 300 m 以上変わった場合は、新しい標高に合わせて再設定する必要があります。この場合、スチームクッカーのカルキ除去を行ってください (「掃除とお手入れ」の「カルキ除去」を参照)。

スチームクッカーの稼働中、大量の蒸気が放出される。または、いつもとは違う場所から蒸気が漏れる。

以下の点を確認してください。

– ドアはしっかり閉じていますか？

– ドアシールが正しく装着されていますか？必要に応じて、ドアの周囲のシールを押して、均一に装着してください。

– ドアシールが破損（ひび割れなど）していませんか？シールを新しいものと交換してください。

それでも問題が解決しない場合は、ミーレのコールセンターまでご連絡ください。

ディスプレイに マークが表示され、アラームが鳴る。

以下の点を確認してください。

– 貯水タンクが本体にしっかり収まっていますか？

– 貯水タンクに十分な水が入っていますか？水位は、2 つのマークの間でなければなりません。

スチームクッカーの電源を入れると、 マークと 1～10 の数字が表示される。または、ディスプレイに「0:22h」と表示され、 マークが点滅する。

スチームクッカーのカルキ除去が必要です。「掃除とお手入れ」の「カルキ除去」の手順に従ってください。

ディスプレイに F05 または F06 が表示される。

スチームクッカーの電源を切って、ミーレのコールセンターまでご連絡ください。

ディスプレイに F20 が表示される。

スチームクッカーが加熱していません。

– まず、貯水タンクが本体にしっかり収まっていることを確認してください。スチームクッカーの電源を切って、もう一度入れ直してください。

– 庫内の温度が加熱を開始してから 5 分以内に最低 2 ℃上昇しない場合、エラーメッセージが表示されます。この問題は、大量の冷凍食品を入れている場合などに発生します。

–「掃除とお手入れ」の「貯水タンク」/「カップリングシール」の手順に従って、貯水タンクのカップリングシールに少量のシリコングリースを塗布してください。

それでもスチームクッカーが起動しない場合は、電源を切って、ミーレのコールセンターまでご連絡ください。

長期間使用した後、ドアの開閉時に異音がする。

ドアのヒンジ部分に付属のシリコングリースを塗布してください。

オプションの付属品

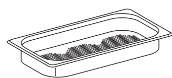
ミーレでは、本製品で使用できる便利な付属品を各種用意しています。

これらの製品は、ミーレの販売代理店からご購入いただけます。

調理容器（食材用トレイ）

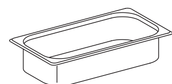
ステンレス製の各調理容器の寸法は、国際基準であるガストロノーム（GN）規格に準拠しています（例 : GN 1/3）。1/3 または 1/2 は、調理容器の幅と深さです。

DGGL 1



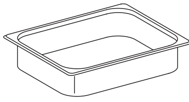
調理容器（穴あき）、GN 1/3
総容量 1.5 リットル / 利用可能容量 0.9 リットル
325 × 175 × 40 mm（幅×奥行×高さ）

DGG 2



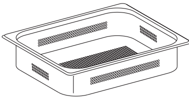
調理容器（穴なし）、GN 1/3
総容量 2.5 リットル / 利用可能容量 2.0 リットル
325 × 175 × 65 mm（幅×奥行×高さ）

DGG 3



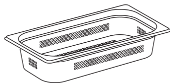
調理容器（穴なし）、GN 1/2
総容量 4.0 リットル / 利用可能容量 3.1 リットル
325 × 265 × 65 mm（幅×奥行×高さ）

DGGL 4



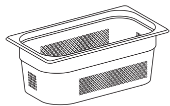
調理容器（穴あき）、GN 1/2
総容量 4.0 リットル / 利用可能容量 3.1 リットル
325 × 265 × 65 mm（幅×奥行×高さ）

DGGL 5



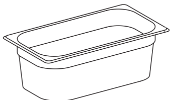
調理容器（穴あき）、GN 1/3
総容量 2.5 リットル / 利用可能容量 2.0 リットル
325 × 175 × 65 mm（幅×奥行×高さ）

DGGL 6



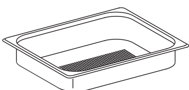
調理容器（穴あき）、GN 1/3
総容量 4.0 リットル / 利用可能容量 2.8 リットル
325 × 175 × 100 mm（幅×奥行×高さ）

DGG 7



調理容器（穴なし）、GN 1/3
総容量 4.0 リットル / 利用可能容量 2.8 リットル
325 × 175 × 100 mm（幅×奥行×高さ）

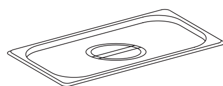
DGGL 8



調理容器（穴あき）、GN 1/2
総容量 2.0 リットル / 利用可能容量 1.7 リットル
325 × 265 × 40 mm（幅×奥行×高さ）

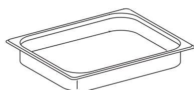
オプションの付属品

DGD 1/3



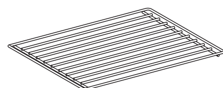
GN 1/3 調理容器用のふた
325 × 175（幅×奥行）
DGG2 および DGG7 に対応

水受けトレイ



余分な水を受けるために使用、GN 1/2
325 × 265 × 40 mm（幅×奥行×高さ）

ラック



調理容器を置くために使用

掃除とお手入れ用製品

ミーレのカルキ除去剤（6 錠）



貯水タンクのカルキ除去に使用

電源接続

電気配線等の作業は、すべて厳正に国および地域の電気設備基準にしたがって適任な有資格者が行わなければなりません。

無資格者による設置、修理、その他の工事は危険です。当社は、無許可の工事の責任は負いかねます。

設置または修理作業が完了するまで、本製品の電源を切ってあることを確認してください。

本製品は必ず正しく設置してから使用してください。すべての電気部品を確実に遮へいするには正しく設置する必要があります。充電部は露出させないでください。

本製品を延長コードで電源と接続しないでください。延長コードを使用した場合、本製品の安全性は保証されません。

電圧、定格消費電力、アンペア数については、銘板に記載してあります。これらの数値が屋内の主電源に一致していることを確認してください。

本製品の接続は、必ず電気設備基準に合ったブレーカーを経由して行ってください。

また、開閉スイッチは容易に点検できる位置に設けることが必要です。

＜重要＞

単相三線式 200V 20A（アース付）専用コンセントコードにて納品されます。

コンセントの形状を確認の上、確実に接続してください。

＜警告＞

本製品は、必ず接地（アース）してください。

＜重要＞

本製品の電気的安全性は、電気設備基準に合った有効な接地を行って初めて約束できます。この基本的な安全基準を電気工事士がテストすることはとても重要なことです。
感電などの不十分な接地の結果に対する製造者責任は負いかねます。

直接的または間接的に、不正な設置や接続が行われた場合の被害・損害に対しては、いずれの場合も製造者責任を負いかねます。

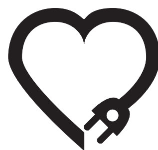
アフターサービス、型式表示シール

故障が生じた場合や、本製品が保証期間中の場合は、下記にお問い合わせください。

– ミーレの販売代理店

– ミーレのコールセンター（所在地は裏表紙を参照）

コールセンターにお問い合わせになる場合、型式表示シールに記載された、ご使用の機器の型番と製造番号をお知らせください。



愛情点検

長年ご使用のスチームクッカーの点検を!

ご使用の際、
このようなことはありませんか

●スイッチを入れてもときどき運転しない時がある
●運転中に異常な音や振動がする
●本体ケースが変形していたり、異常に熱い
●こげくさい臭いがする
●クッカーをさわるとビリビリ電気を感じる
●その他の異常や故障がある



● 使用を中止してください ●

このような場合、事故防止のため、スイッチを切りコンセントから差し込みプラグを抜いて、必ずお求めの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険な場合がありますから、絶対になさらないでください。

ご不明な点は下記までお問い合わせください。

ミーレ・ジャパン株式会社

コールセンター 0120-310-229(ユーザー専用・月ー金 9:00-17:30)

〒150-0044 東京都渋谷区円山町3-6 E・スペースタワー11F（本社） 1F（ショールーム）